

青年海外協力隊・ザンビア共和国派遣中の多田春奈（体育）です。

ザンビアでの活動もあと半年となりました。

少しでもザンビアのことを七飯町のみなさんに紹介していきたいと思いご連絡させて頂きました。

《ザンビアについて》

ザンビアは、アフリカ大陸南部の約標高 1500mに位置しています。

日中は日差しが強いが、朝晩は涼しい。気温は 30 度以上ですが乾燥しているため日本の夏より過ごしやすいです。

アフリカの中でも平和と言われている国で 70 以上の部族が暮らしています。

民族間の緊張はなく温厚で明るくダンスが大好き。

公用語は英語。ニャンジャ語・ベンバ語・トンガ語などの 70 以上の現地語があります。

主食は「シマ」。トウモロコシの粉をお湯で練っておもち状にしたものに、大量の油と塩で味付けしたチキン・ビーフ・魚・豆・野菜などのおかずをいただきます。

《私の配属先・KAFUE BOYS SECONDARY SCHOOL について》

首都ルサカより 50km 南下した位置あるカフェで男子中等学校はザンビアの中でも優秀校で、全国から生徒が集まります。ボールなどの体育用具も整っていないため 1 クラス 50 人に対して 1 つ。運動靴もないので裸足。それでも子どもたちはとびっきりの笑顔で走り回ります。

授業は朝 7:20 から昼の 1 時まで。授業時間は 40 分。10 時からのブレイクタイム 30 分を除き、トイレ休憩なくノンストップで授業が展開されます。部活動は、サッカー・ラグビー・バスケットボール・バレーボールが活動していますが、どの部もチームにボールが 1 つ、ユニホームなしという状況です。

《私の活動について》

ザンビアでは、体育の授業実施とソフトボール普及・柔道普及を目指し、首都ルサカから南へ約 50 キロ離れたカフェという町にある、カフェ男子中等学校で体育教員として活動中です。カフェ男子中等学校は、G8 から G12（中学 2 年～高校 3 年）が約 800 名在籍しております。ザンビアの中でも優秀校とされ、ザンビア各地から生徒が集まってきています。賢い子どもたちが集まる学校だからこそザンビアを引っ張っていく人材育成を体育を通して目指しています。

JICA プログラム「世界の笑顔のために」を通してソフトボール用具を申請し、ザンビアの子どもたちにソフトボールを指導中です。

また、函館市にある某整骨院の院長先生の呼びかけで柔道着を集めザンビアに届けるというプロジェクトを立ち上げて下さり、柔道をも指導しております。



みんなで楽しくソフトボールをしよう！



初めてソフトボールに触れる子どもたち。ソフトボールを通じて「規律・協力・整理整頓」を定着させ、ザンビアを引っ張る人材育成することを目指します。



みんなの嬉しい顔。このように笑顔が見られたのも協力して下さったみなさんのおかげです。量はトランポリンのようでした。下) 練習前は必ず拭き掃除。



日本のみなさんが送って下さった柔道着。生徒たちに説明しています。上) Jr. JUDOKA 下) Senior JUDOKA

